



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 組織情宣部
2024年4月9日 No.759

退職金の下がる第二基本給制度は即刻廃止するべきだ！

東日本ユニオンは2024春闘において、第二基本給の廃止を経営側に訴えてきました。

第二基本給は、基本給が上がるたびに「退職金」が減っていくものです！

<東日本ユニオンの主張>

- 「第二基本給制度」は、JR東日本が発足した当時、赤字経営が予測され、盤石ではない経営環境の中で退職手当金が経営を圧迫させてしまうということで生み出されたものである。
- 国鉄時代に採用された多くの社員は定年退職を迎え、経営体力もついてきたなかにおいて「第二基本給制度」は、理解や納得が得られないものとなっている。
- 退職金を減額、抑制する「第二基本給制度」は、すでに使命を終えた認識であり、必要ない。

<経営側の主張>

- 退職金を取り巻く制度との兼ね合いがある。課題意識をもって勉強している。
- 全社員の退職金算定においては、第二基本給を差し引いた金額であり、社員間に不平等という差は発生しない。
- 現行で妥当である。

また経営側は「JR東日本に発足以降に入社した社員は第二基本給があることを前提に入社している」と述べています。

みなさん、知っていましたか！？